

風 601 (現場)からの

宮田守男

14日は1914年のこの日、国際オリンピック委員会によって5大陸を表す五輪旗が制定された「五輪旗制定記念日」だ。7月28日から開催されるパリ

オリンピックでの熱戦に大いに期待したい。長野冬季オリンピック・パラリンピックが開催されてから26年、26歳以下の皆さんはオリンピックを知らない年代でもあり開催意義を語ることも困難に。しかし、白馬を訪れる国内外の皆さんにはオリンピック開催地に来たと思っていると信じたい。

開催当時の大会に関する多くの資料を大切に保存している人も多いはずだが、多くの価値ある記念の資料は、各家庭の倉庫に埋もれたままになっているのが残念だ。大会を開催した当時の施設や大会開催後に白馬地域に新たに進出した施設等で展示しているケースはあまり聞かえてこない。またオリンピック等開催のために国際大会も数多く開催されている。参加した選手か

オリンピック開催 当時を表現し続けよう

管している数多くの資料を、展示希望の施設等に提供できる仕組みが考えられないだろうか。その取り組みがオリンピックを開催した財産を継続させるに違いない。

「夢」はかなえられず、よくも悪くも「現実」に。あこがれているうちが「花」。その花を枯らすことがないように、毎日、水やりを忘れず、と知人の加藤和郎さんはいつも自分に言い聞かせていると教えていた。私達も毎日水やりする目的は失ってはいけない。熊本県立大などの研究



国道148号線いなお・佐野坂間沿道に自生する鮮やかなピンクのウツギの花。花のある風景は素敵だ

チームが、中が空っぽになっている竹が、どうして折れずに高くそびえ立つのかを力学的に解明している。空洞を任切る節が根元と先端、中央部で絶妙な間隔に配置され、強度と柔軟性を生んでいるからだと。発展し続ける地域にも強度と柔軟性は不可欠な要素に違いない。

河北新報が「まるで校庭・田んぼの水確保に農家苦心」と記録的な少雪の影響を伝えた。田んぼにとって水は貴重品だ。山岳地帯からの雪解け水に頼る用水を補完する「ため池」等による水確保も異常気象が続く現状下では考察する時期なのかもしれない。

(信州地域社会フォーラム会員・白馬村森七)